

舞台演出

舞台演出のポイント

適度な **余裕** を出せ！

余裕を出す 3 要素

- 速度調整
- 視線処理
- 表情

速度調整

スポーツモデルはクイック動作をいれる

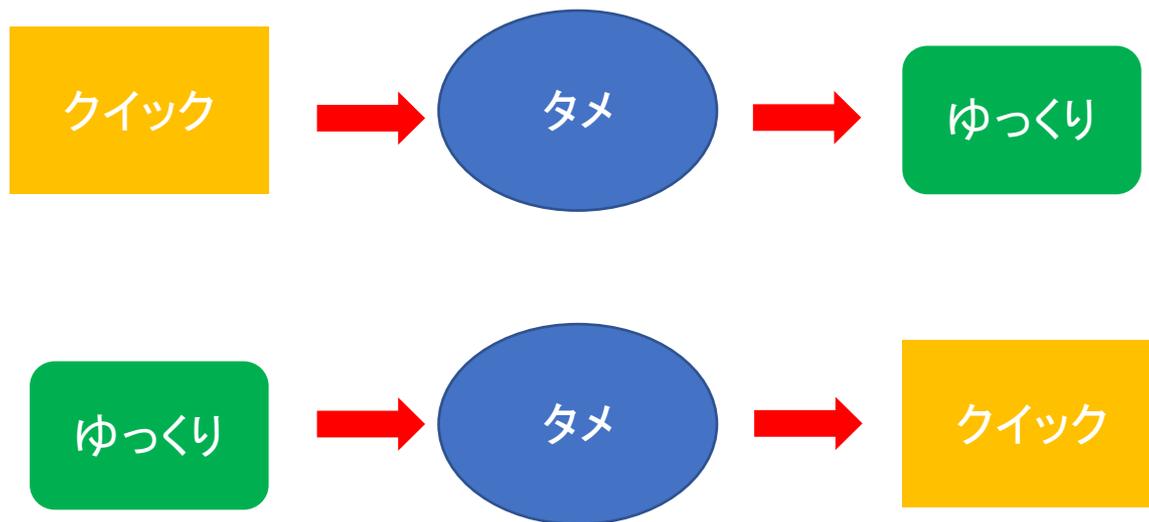
- ・クイック動作をいれるとスポーツモデル感が出る
- ・**タメ**をつかってポーズに間をつくり、適度な余裕を与える

タメを作るタイミング

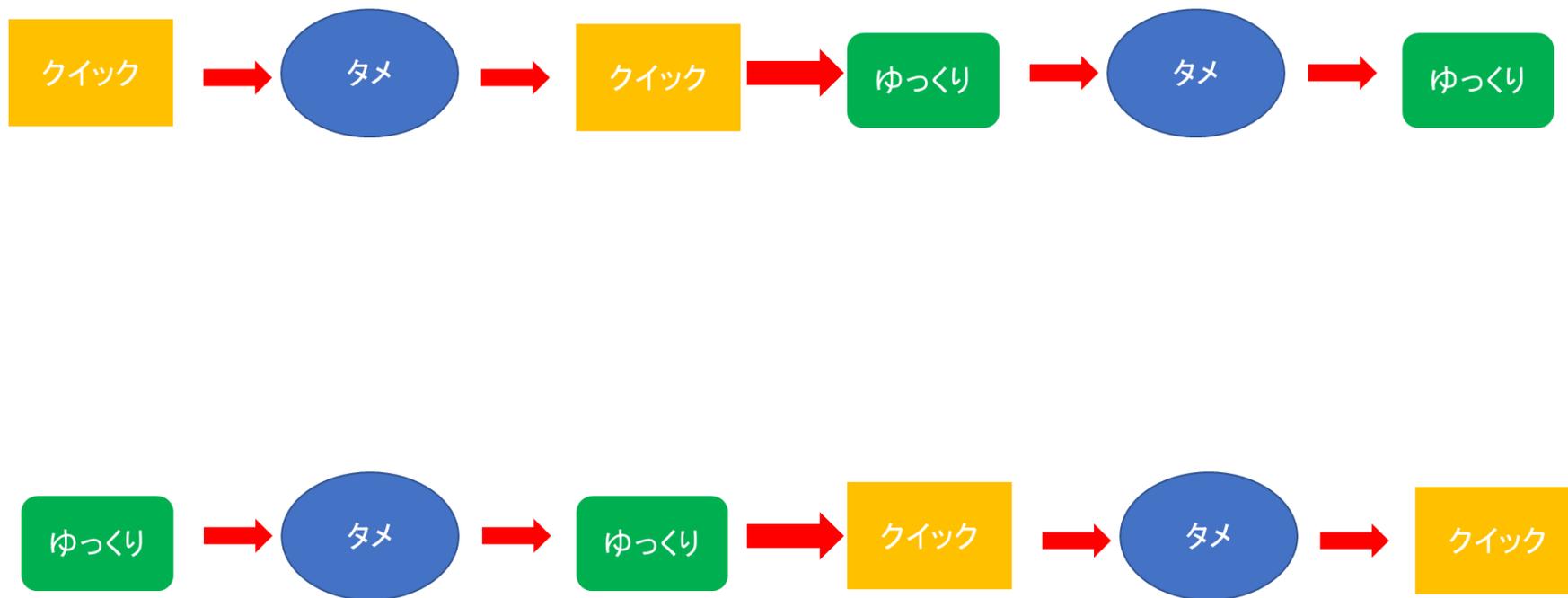
- ・ 腕を胸に近づける時
- ・ 腕を下げる直前
- ・ 腕を広げる時

でタメをつくることが多い

タメの前後で速度を変える



このような組み合わせもOK



視線処理

Eye Contact 視線処理

ずっと上ばかり見たり、
画面ばかり見て説明する人のプレゼンを
あなたは聞くでしょうか？

視線処理

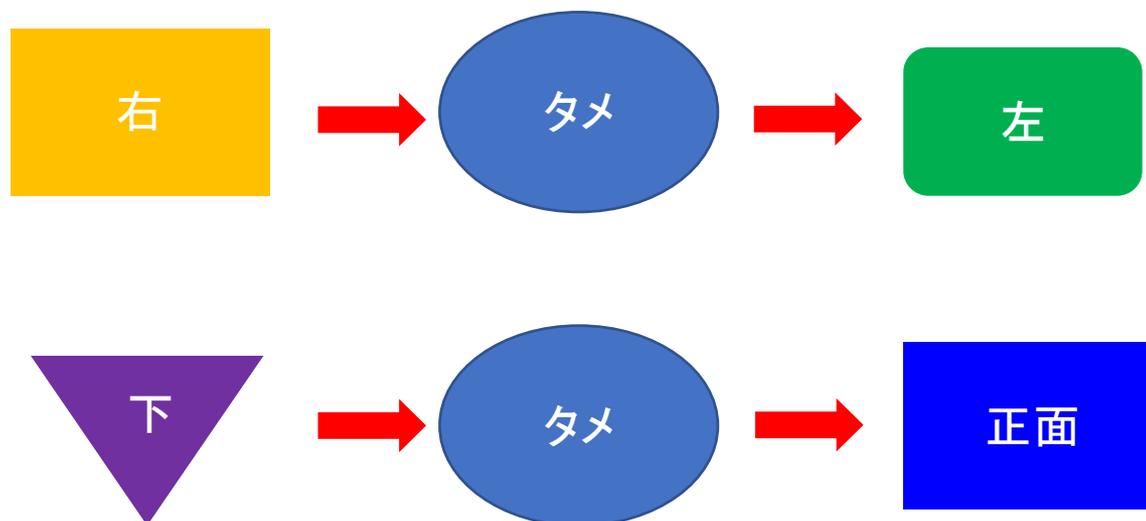


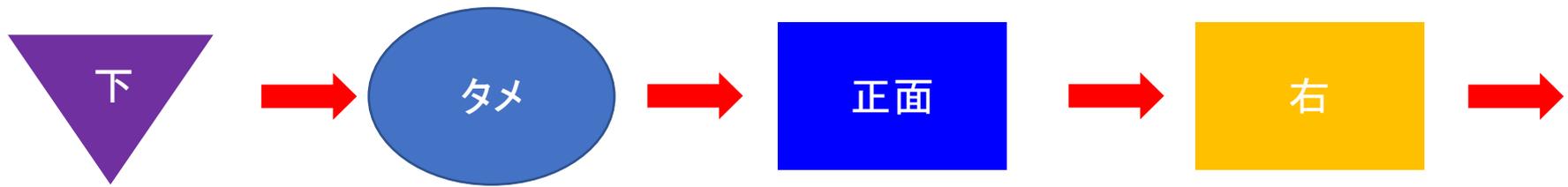
一点だけでなく、
あらゆる方向を見る



効果的な視線処理

タメをつくるタイミングを境に視線を切り替える（実演予定）





表情

余裕を生む表情表現

3つを組み合わせればよい

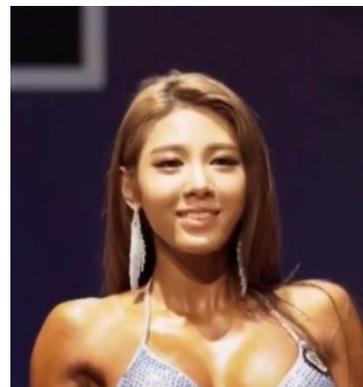
無表情(シリアス)



サイレントスマイル



ハーフスマイル



あごの角度が表情・印象に大きくかわかる

▼アゴの角度で与える印象が変わることを意識する



出典 careerzine.jp

- (1) 軽蔑・横柄、 +20度
- (2) 自信・余裕、 +10度
- (3) 信頼・誠実、 +- 0度
- (4) 控え目・遠慮、 -10度
- (5) 疑惑・卑屈を示すアゴの角度 -20度

目安

+20°	10%
+10°	60%
+0°	30%

くらいの割合で
構成する

“あごの角度によって、横柄、余裕、誠実、遠慮、卑屈、と5つの
違った印象を与える。



下を見る時も
アゴは下げないようにする

アゴを20°上げるタイミング

20°上げる時は一瞬にする

L字ターン後のフロントウォークの第一歩目

フロント or サイドポーズで腕を下し切った後

演出処理において大事なこと

二度同じことを極力やらない

⇒ 滑稽になる